

# 京都教育大学 F D ニュース

No. 38

2007 年 8 月 3 日

FD 委員：巻本彰一，中峯 浩，村上登司文、榊原典子

\*\*\*\*\*

## 前期の授業アンケートについて

前期授業アンケートは、7月2日～13日の実施期間に、共通教育科目（教養科目、外国語科目）、教育課題対応科目、複合的課題対応パッケージ科目、教職科目、小学校教科内容論の授業を対象に行っていただきました。ご協力、ありがとうございました。8月下旬には、実施された教員の方々に、集計結果をお届けできる予定です。

## 特集記事「教師力」から

今、FD には「新たに何をするか」より、「日常やっている取り組みをいかに組織として広げていくか」が問われている（7月20日付けの読売新聞記事より）

皆さんの中にも読まれた方も多いと思いますが、読売新聞の「教育ルネサンス No. 613～627」（平成 19 年 7 月 3 日（火）～7月21日（土））で、『教師力 大学編』と題した FD に関する特集が組まれました。

来年4月には、大学設置基準の一部が改正され、「授業内容や方法の改善を図るための組織的な研修や研究」への取り組みが義務付けられることとなります。1999年より努力義務とされてきた大学の組織的な取り組みは、新たな段階を迎えることとなります。

近年では、多くの大学で FD の取り組みとして講演会の開催や研修会、授業アンケート等が実施されるようになり、大学の意識改革と教師力向上・授業改善に、一定の成果がもたらされたといえますが、一方でその形骸化が危惧されているのも事実です。

本学でも、FD 委員会の位置付けや従来行ってきた授業アンケートの再検討など、FD に関する見直しが進められています。今後、「大学としての教育力」向上を目指し、教職員が智慧を出し合って FD 活動を充実させていく必要があります。

前期授業期間を終えた今、自分の授業実践を見直し、後期に向けて再構築する意味でも、上記の記事のいずれかは参考になると思います。

シリーズで取り上げられている内容を裏面に記します。

「教育ルネサンス」（読賣新聞より）

シリーズ No.	日付	内 容
613	7月3日	学生参画型授業への改善をはかって（岡山大学）
614	7月4日	専門家（FDR・ファカルティーディベロッパー）による授業コンサルティングを導入して（愛媛大学）
615	7月5日	大学の生き残りをかけ、教師力向上に教職員相互の授業参観や数々の取り組みを行っている（宮崎女子短期大学）
616	7月6日	模擬授業や討論を通して、新任教員とベテラン教員が授業改善について学びあう合宿を実施している（徳島大学）
617	7月7日	新入生に対する教育「学習技術」「キャリアプランニング」「コンピューティング」の指導力を全教員に徹底させている（関西国際大学）
618	7月10日	地方の大学間で教師力を底上げする仕組みをつくった一例「授業改善クリニック」の取り組み（山形大学・東北地区の大学ネットワーク）
619	7月11日	授業改善と院生の指導力を育てるために、TAを有効に機能させる（東京農工大農学部）
620	7月12日	学生による授業評価アンケートの課題（玉川大学）
621	7月13日	授業研究会（授業公開）の導入（山口大学）
622	7月14日	教員と職員が連携して、互いの学生指導力を高める取り組み（東京未来大学）
623	7月17日	大学でも発達障害など多様な学生への支援が求められ出している（上智大学、他）
624	7月18日	広がる英語力の格差をどう埋めるかー学力困難校経験を買われた教員の奮闘（東京純心女子大学）
625	7月19日	大学全入時代の学ぶ意欲、動機付けに「フィールドワーク」を導入して（青森大学社会学ゼミ）
626	7月20日	今、FDには『新たに何をするか』より『日常やっていることを組織としていかに広げていくか』が問われる（京都大学高等教育研究開発推進センター長・田中每実氏）
627	7月21日	読者の声

一連の写しを各学科に配布します。また、教員連絡室、非常勤講師控え室にも置いておきますので、どうぞ一読下さい。